



第41号
(発行所)

真宗大谷派
松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30
TEL (052) 411-5301
FAX (052) 411-5341
携帯 090-1568-4623

満中陰法要

人は「おぎゃー」と生まれてきた時点で、短命か長命かわからぬ人生を生きねばならない。

人生五十年といわれた時代がある。現代からしてみればあまりに短い。現代、日本は高齢化社会といわれる。言い換えれば、現代は八十、九十、百歳という命を押し付けられ、衰弱と孤独と不安は年を重ねれば重ねるほど、重くのしかかる。時間を大切に使うというところにとどまらず、受けた「生」をどのように生きていくかが最大の課題である。七月十三日の、讚海院釋亮満中陰法要では本堂の中は暑いながらも満堂となり、午後二時から五時半まで参詣者も減ることなく満堂のまま法要は勤まった。

お説教の先生から、

「こんな盛大な満中陰法要で法話をさせていただくのは初

めての経験です」との言葉が出た。

大正十一年一月に誕生した『松岡亮昭』と名付けられた

「生」が

九十年と

いう長い

歳月の間、

幾多の苦

難を受け

入れ、た

くさんの

人々の師

となり、

出会って

こられた

かを、こ

の満中陰

法要にて

深々と考

えさせら

れた。



(満中陰法要での登高座)

満中陰に法話をきく

釈 緯智

七月十三日は老僧の満中陰の日。大法要の前に勅使英照師の法話を聞くことができた。満員の本堂は熱気ムンムン。

法話ではまず、海外で「あなたは何を信じて生きていますか」と聞かれて、「これに対して「仏教」と答える日本人はなかなかいないそうだ。その上「仏教の内容は」となるともっと答えられない。まった



く同感だ、と思うが、日本人の多くは分かっている。自己表現というか会話が下手なだけだと思う。師は赤本の中にある三帰依文（仏法僧〓三宝）を言えばよい。また、パーリ文の三行を答えれば言うことなしだ。われら真宗の真宝はこの三宝なりだといわれ、仏・法・僧についてそれぞれ詳しく説明された。なるほど！認知症の母の御襷褌替えおむつをする生々しい介護の法話を取り持つご縁でここに来た由、その時いただいたご遺歌の中から

「文ちゃん あなたの寿命のつきる その日まで頑張る という吾八十七歳」や

「文ちゃんの最期みとどけ葬儀して御骨を『太田の墓へ』が願い」

などを挙げられ歌集の中に切々と詠まれた老僧の妻を思う愛の賛歌にとても感動したと。

ちようど告別式で寺西学氏が読まれたことをふーっと思ひ出し涙する。また老僧の心情が赤裸々に伝わる

秀歌だとしきりに褒められ一読をも勧められていた。

最後に南無阿弥陀佛の念仏について。

親鸞聖人は自然じねんほうに法爾の念仏を勧められた。これは、

ただ単に称名念仏をすれば功德あり救われるというこ

とではない。自然の中におかれた自分・私から救

われた時のうれしさに唱えずにおれない、ふっと出て

くる感謝感激の気持ちが念仏となって出てくる。これ

が本当の念仏なりと。私たちは情報化社会の中で煩惱

につつまれ一生懸命に生きている。事があると悪いこ

とは他人のせいにしてしまう、都合が悪くなると黙っ

てしまったり逃げる。そんな生き方をしている私たち

に正信偈の中の是人名分陀利華（どろ沼の中に咲く美

しい蓮の花）となることを諭された。

身近な事を話の中に入れて時々カッと大きな目をし

て座の反応を確かめられる法話は、私たちの心を話の

中にひきずり込んで飽きさせなかった。

報告

六月二十六日から総

代の寺西税さんと二泊

の本山研修道場で過酷

な研修を受けました。

そして研修を終了した

六月二十八日に東本願

寺本廟にて、宗務総長

より松岡貴志に廣讚寺

の住職を任命されまし

たことをここに報告い

たします。

そして六月三十日、常

任委員会を開催し廣讚

寺の大まかな組織作り

を皆で検討し決定いた

しました。役員選出は

「宗教法人法」「宗教法

人廣讚寺寺院規則」に

則り決定いたしました。

廣讚寺 代表役員 松岡貴志

・ 責任役員 松岡貴志 (住職)

・ 責任役員 寺西 税 (門徒代表)

・ 責任役員 松岡砂織 (寺族代表)

・ 総 代 天野清明 秋田芳廣 猪飼潔

・ 会計責任者 秋田芳廣 監査 寺西年一

・ 教区門徒会 寺西税 松田之紀 秋田賢治 秋田宗和

(名古屋教区を門徒の立場から、僧に対し意見・提案を申す役割です)



東本願寺 御影堂門(6月28日 寺西税 撮影)



八月十三日(土) 七時半 同朋会(役員は七時)

十九日(金) 二時 学習会

二十八日(日) 十時 二十八日講・女人講

東別院夏まつり

〈へところ〉東別院境内

8月20日(土)・21日(日)

◆ 17時〜21時

盆踊り、コンサート、大道芸、夜間本堂参拝、
たくさんの屋台、大花火など

ぜひ遊びに行ってください

九月十日(土) 七時半 同朋会(役員は七時)

十一日(日) 八時 庭そうじ

(昼おとぎ後、解散)

十九日(祝) 二時〜四時 学習会

二十三日(祝) 十時 秋季彼岸会

説教 廣瀬純史師

廣讚寺講総会

おかみそり

二十四日(土)

二十五日(日) 三時 彼岸お勤め

二十六日(月) 住職説教

二十八日(水) 十時 二十八日講総会